

令和 2 年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	荒井正憲
	全体計画			経費区分	-	内線	3115
事務事業名	4039 職員互助会助成事業						
所 属	050100 総務部・総務課						
施 策	07024400 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020108 総務費・総務管理費・職員厚生費					
	事業	020000 職員互助会助成事業					
事業目的				事業概要・効果			
地方公務員法第42条に基づく職員の保健、その他厚生に関する事項を実施するため、須坂市職員互助会を設置し、職員の福利厚生等の向上を図る。				職員互助会へ負担金を支出し、職員互助会で職員厚生事業、文化活動事業、体育事業等を行った。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
職員互助会へ次の支出を行った。 ①19市職員体育大会参加負担金 ②職員体育活動負担金 ③職員文化活動負担金 ④職員厚生事業負担金	職員互助会へ次の支出を行った。 ①19市職員体育大会参加負担金 ②職員体育活動負担金 ③職員文化活動負担金 ④職員厚生事業負担金
平成29年度 実績	平成30年度 実績
職員互助会へ次の支出を行った。 ①19市職員体育大会参加負担金 ②職員体育活動負担金 ③職員文化活動負担金 ④職員厚生事業負担金	職員互助会へ次の支出を行う。 ①19市職員体育大会参加負担金 ②職員体育活動負担金 ③職員文化活動負担金 ④職員厚生事業負担金
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
職員互助会へ次の支出を行う。 ①19市職員体育大会参加負担金 ②職員体育活動負担金 ③職員文化活動負担金 ④職員厚生事業負担金	職員互助会へ次の支出を行う。 ①19市職員体育大会参加負担金 ②職員体育活動負担金 ③職員文化活動負担金 ④職員厚生事業負担金

指標名	インフルエンザ予防接種補助人数の拡大						
算式	インフルエンザ予防接種補助人数					単位	人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標	170	175	180	185	190	
	実績	159	155	168	181		
指標選定の理由	職員の疾病予防の充実のため						
最終年度目標の根拠	25年度補助人数の20%増(25年度会員505人、補助160件)						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		1,559	1,514
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	80	173
一般財源		1,479	1,341
人員数 (人)	正規職員	0.3	0.5
	嘱託職員	0.0	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	2,179.5	3,632.5
	嘱託職員	0.0	565.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,179.5	4,198.3
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,738.5	5,712.3

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,559	職員互助会負担金
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,514	職員互助会負担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	やや低い
評価コメント	組合と共催している福利厚生事業や水曜エクササイズ等は参加人員等を考慮して、事業を見直す必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	あまり有効ではない
評価コメント	より多くの職員へ恩恵が受けられる事業を検討していきたい。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	職員互助会一般会計が特別会計から繰入をせざるを得ない予算編成となっており、事業の見直しが必要。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

職員間のコミュニケーションが活性化する事業やより多くの職員へ恩恵が受けられる事業を検討していきたい。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>楽しく仕事ができる一番の秘訣は、「明るい職場」を築くこと。明るい職場を築くには、相手を思いやる気持ち、相手の話を聴く姿勢が大切である。互いを思いやる気持ちを職員互助会の事業を通じて高めていきたい。</p>		<p>互助会事業の目的達成のため、必要に応じた事業の見直しを行った。一部の特定された職員のみが行っている事業の継続も検討する必要がある。職員間のコミュニケーションの活性化が重要。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	